

# 宮城県栗原市における通信プロトコル等検証のための地域実証

＜概要＞ 生活拠点や行政機能、建物施設が分散して存在する広域分散地域において、これらを一体化し、(1)分散した建物や設備で消費するエネルギーについて、ICTを利用して統合管理することにより、環境負荷低減を実現するための技術規格・仕様(2)各生活拠点の市民に対して等しく行政サービスを提供するためのICT利用システムを構築する。

- ＜成果＞
- ・ICT消費エネルギー監視のための技術規格
  - ・各建物の異なるベンダーによるBAS(BEMS)をネットワーク接続し、群管理を可能とするための技術仕様
  - ・公民館等の近隣の公共施設において、遠隔地の市役所・支所と同等のサービスを提供するための技術仕様
  - ・NGN網を介した仕様の異なるHDテレビ会議システムに関する技術規格

- ＜成果の活用や今後の展開＞
- ・H23年度中にICT消費エネルギー監視のための技術規格をIETFへ提案
  - ・建物消費エネルギー監視のための技術仕様をISO/TC201へ提案
  - ・H23年度以降は、関連事業による展開を予定

○実施場所:宮城県栗原市

○事業者:東北大学、東日本電信電話(株)宮城支店、(株)NTTファシリティーズ、(株)日立東日本ソリューションズ、(株)三菱総合研究所

